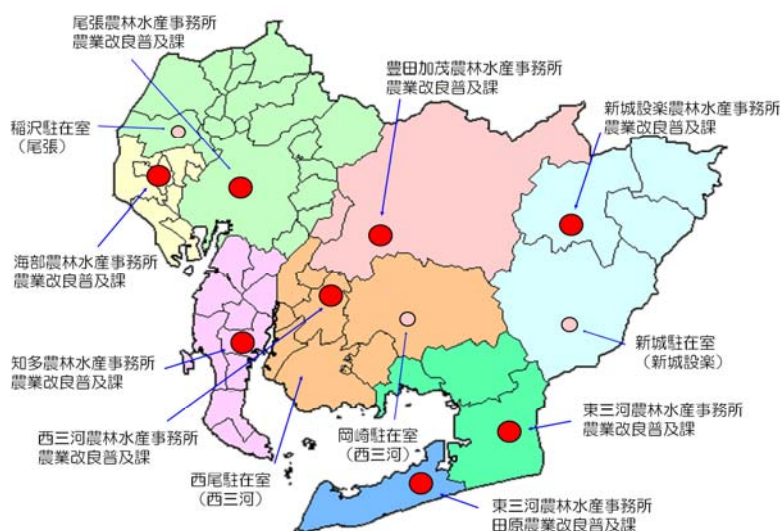


平成28年度協同農業普及事業外部第三者評価資料 (愛知県における普及指導活動の概要)

1 活動体制

- 県内に8農業改良普及課(4駐在室)を設置し、197人の普及指導員等を配置。他に県内全域を担当する普及指導員(農業革新支援専門員)を農業総合試験場に12人配置。
- 県行財政改革等により17年前(平成10年)に比べ、86人減少。

○農業改良普及課の所在地



○農業改良普及課の体制

農業改良普及課長

担い手育成グループ

就農相談、青年農業者、女性農業者の育成、農業金融等

技術指導グループ

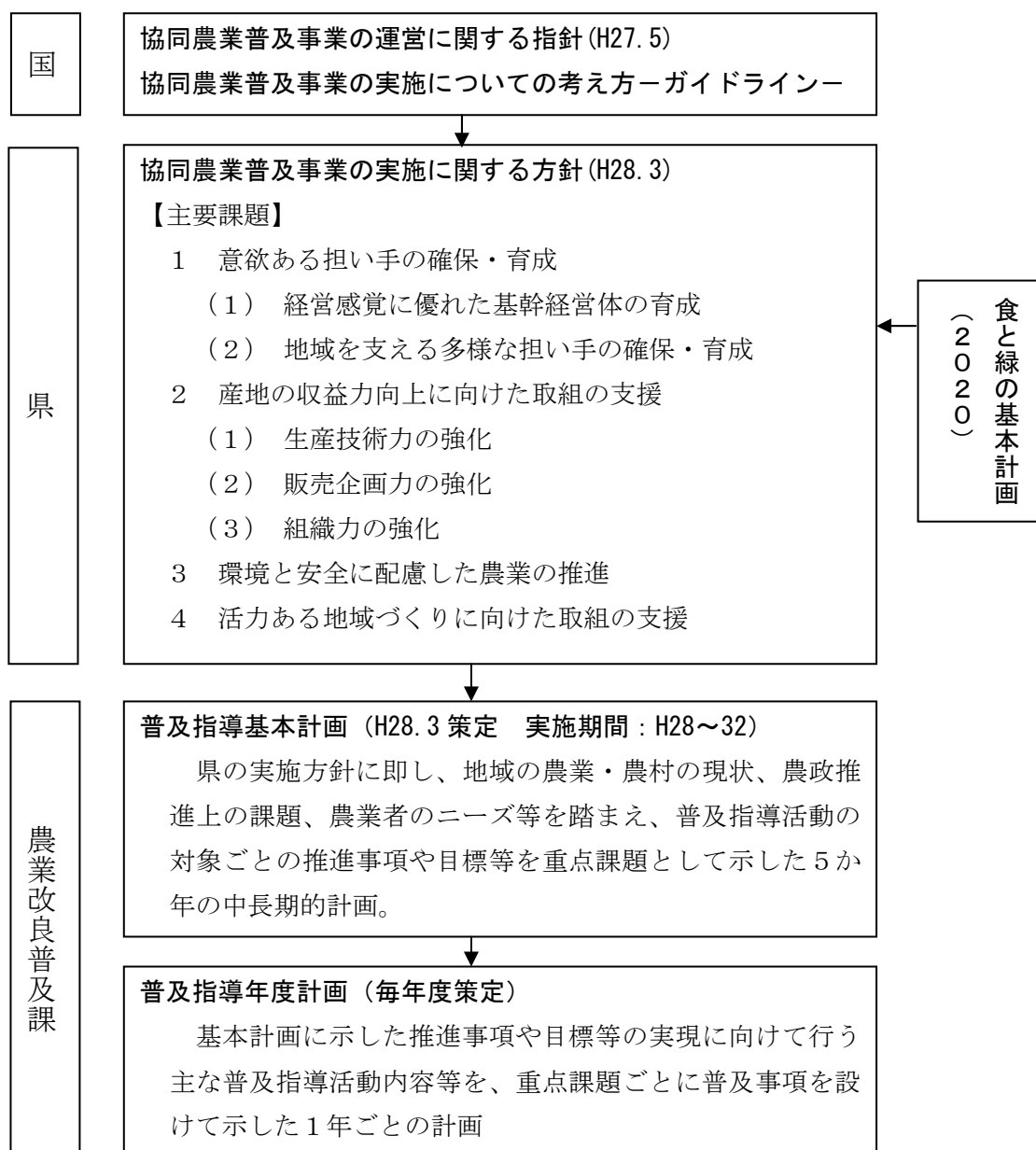
技術及び農業経営の改善、生産組織の育成

○普及組織数及び普及職員数の推移

年度	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28
普及課数(か所)	11	11	8	8	8	8	8
職員数(人)	295	269	224	211	209	210	209
比率(H10=100)	100	91	76	72	71	71	71

2 普及指導活動の計画的な実施

- 国が策定する「協同農業普及事業の運営に関する指針」「ガイドライン」に基づき、県が、「食と緑の基本計画」の趣旨等を踏まえ、「協同農業普及事業の実施に関する方針」を策定
- 県の「協同農業普及事業の実施に関する方針」に基づき、各農業改良普及課が「普及指導基本計画」を策定
- 各農業改良普及課は、「普及指導基本計画」に基づき、年度ごとに「普及指導年度計画」を策定して普及指導活動を実施



3 普及指導活動の評価

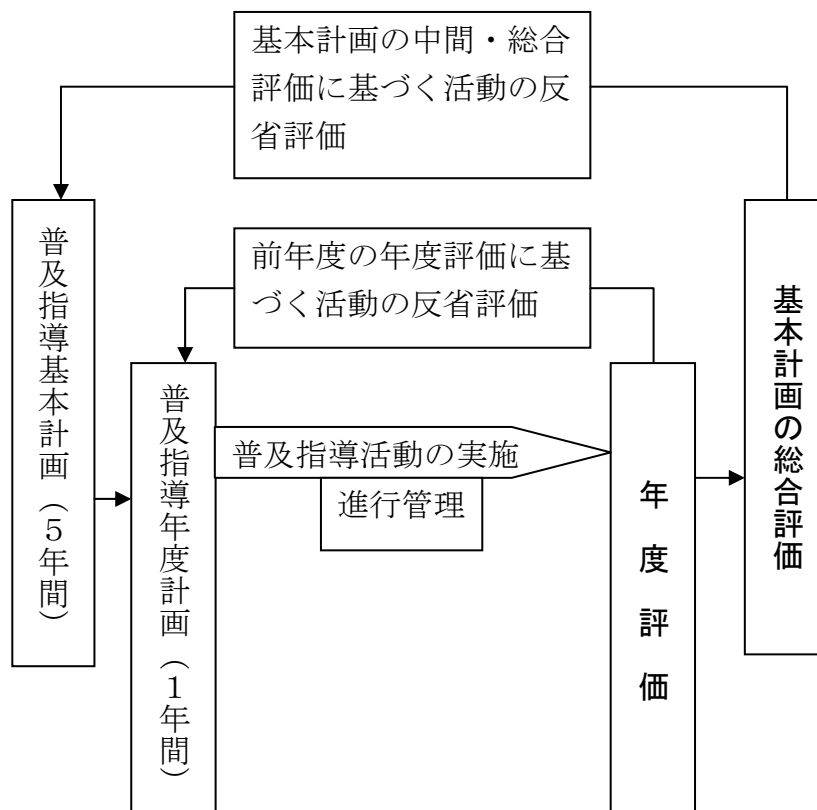
<内部評価>

- 各農業改良普及課は、年度ごとに策定する「普及指導年度計画」に定められた活動の経過、成果について、**年度末に評価を実施**（年度評価）。
年度評価の結果を反映し、次年度の「普及指導年度計画」を策定。
- 5か年の「普及指導基本計画」については、中間年度に**中間評価**、最終年度に**総合評価**を実施。

<外部評価>

- 普及事業をより広い視野から適切に評価し、その結果を的確に普及指導活動へ反映していくため、普及事業関係者以外の有識者・消費者等を評価員とする、**普及事業の外部第三者評価**を実施。

○ 内部評価（農業改良普及課内での評価）



○ 外部評価（外部第三者評価員による評価）

4 普及指導活動の内容と成果

- 普及指導活動の課題に対し、平成28年度は68の重点課題を設定（普及事項数382）して活動を実施。
- 基幹経営体の育成、新規就農者の就農支援と定着、新品種・省力化技術の拡大、エコファーマーの育成等に成果。

○農業改良普及課における普及活動の取組状況（平成28年度）

普及指導活動の課題	重点課題数	普及事項数	延べ担当者数
担い手育成課題	9	56	57
稲・麦・大豆・茶部門課題	9	52	29
野菜部門課題	15	93	50
花き部門課題	11	60	37
果樹部門課題	9	50	27
畜産課題	8	36	20
地域営農課題	7	35	36
計	68	382	256

※ 平成28年度 農業改良普及課配置職員定数197名

○主な普及指導活動の内容と成果（平成27年度）

普及課題	普及指導活動の内容	成果
多様な担い手の確保・育成	○ 経営相談、技術指導に関するカウンセリング、コンサルを851経営体で実施。資金借受者に対するフォローアップ。	基幹経営体4,296
多様な担い手の確保・育成	○ 8か所の農起業支援センターで、個人868件・企業30件に対応。青年就農給付金受給者に対する技術・経営指導。 ○ 地域リーダー農業者の育成	給付金受給者200名 新規就農者233名 経営士35名、青農士32名、 アドバイザー11名 (H27年度末)
産地の収益力向上	○ V溝直播技術導入による稲作経営体の省力・規模拡大推進 ○ 県育成品種等の導入による有利販売の展開	導入面積2,258ha (27年) きぬあかり3,647ha(H27) ゆめのか26.4ha(27年)
環境保全型農業の推進	○ エコファーマー育成、GAP導入とマネジメントサイクルを活用した生産技術向上 ○ 天敵利用による病害虫防除技術の確立実証	エコファーマー 3,488人 GAP142産地等(27年度末)
活力ある地域づくり	○ 地域特産物の生産推進 ○ 鳥獣被害対策の支援	夢山水30ha(H27) 夢吟香15ha(H27) 稲武2号7.7ha(H27) おりべえ25基(H27)

○最近の技術・品種の普及成果（主要なものを抜粋）

	内容	普及成果（時点）	備考
県 育 成 の 新 品 種	稲「あいちのかおりSBL」	10,200ha (H27)	農総試調べ
	稲「ゆめまつり」	800ha (H27)	〃
	稲「みねはるか」	50ha (H27)	〃
	酒米「夢山水」	30ha (H27)	〃
	酒米「夢吟香」	15ha (H27)	〃
	小麦「きぬあかり」	3,647ha (H27)	〃
	トマト「あいさか2号」	1.8ha (H27)	〃
	いちご「ゆめのか」	26.4ha (H27)	〃
	ふき「愛経2号」	27.3ha (H27)	〃
	なす「とげなし輝楽」	9.9ha (H27)	〃
	じねんじょ「稲武2号」	7.7ha (H27)	〃
	きく「なつき愛」	70万本 (H27)	〃
	カーネーション「ファーストラブ」	7.5万本 (H27)	〃
卵用名古屋コーチン	10.1万羽 (H27)	〃	
生 産 技 術	水稲不耕起V溝直播栽培	2,258ha (H27)	〃
	高能率摘心機による大豆増収技術	35ha (H27)	〃
	袋培地栽培法(トマト、ガクハラ、材バ、ハラ)	18.6ha (H27)	〃
	全方位開放型囲い罫「おりべえ」	25基 (H27)	〃
そ の 他	認定農業者	4,781人(28年3月末日)	農業振興課調べ
	エコファーマー	3,488人(28年3月末日)	農業経営課調べ
	GAP導入産地等	142産地(28年3月末日)	農業経営課調べ
	家族経営協定の締結	1,426戸(28年3月末日)	農業経営課調べ
	女性起業家	119件(28年3月末日)	農業経営課調べ

5 普及指導員の資質向上の取組

- 普及指導員の資質向上は、自己啓発を基本としつつ、OJTを中心とし、OffJITにより補完するよう、計画的な研修及び調査研究により実施。
- 普及指導員の研修は、普及指導活動において、技術指導能力、課題解決能力を十分に発揮し、常に農業者の高度で多様なニーズに応えうる普及指導員を育成することを目標に実施。

1 OffJIT研修

研修名	内 容	研修の例
新任者養成研修(初級研修)	直接農業者と接するために必要な普及指導活動スキルと担当部門の知識・技術を身につけるとともに、普及指導員資格を取得できるように研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任者研修 ・ 普及方法研修 ・ 課題解決研修 ・ 普及指導員養成研修 ・ 経営指導基礎研修
専門指導力強化研修(中級研修)	担当する分野に関する専門知識・技術を習得するとともに、他の職員に対して指導することができ、プロジェクト・リーダーとしてチーム活動ができるように研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普及戦略研修 ・ トレーナー養成研修 ・ 経営指導高度化研修 ・ 病害虫同定・診断研修 ・ 野生鳥獣による農作物被害防止対策の基礎研修 ・ 土壌診断基礎研修
総合指導力強化研修(上級前期研修)	OJTトレーナー、普及課題チームとして、プロジェクト管理ができるように研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション研修 ・ 経営指導推進プロジェクトチーム研修
企画・運営能力強化研修	ミドル・マネジャーとして、リーダーシップをもってグループ運営ができるように研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション研修 ・ 経営指導推進プロジェクトチーム研修 (他に自治研修所の研修を活用)

2 OJT研修

新任の普及職員の早期育成を図るため、課内で課長、班長、トレーナー又はサポーター及び広域指導室の普及指導員からなる育成チームを組織し、OJTによる指導を実施。

6 農業者への情報提供

- 県内の農業者及び一般県民を対象に、農業の先進技術に関する情報、地域に密着した情報、普及指導活動のPRなどについて情報提供
- 情報提供は、インターネット、印刷物の配布、新聞掲載などの手段を活用。

○情報提供の内容

- 1 インターネットによる情報サイト「愛知県普及情報ネットワーク（ネット農業あいち）」による提供
「技術と経営」、「農業者紹介」、「特産品紹介」、「つくっちゃおう」、「フレッシュマン」、「普及活動紹介」など。
- 2 農業普及だよりによる提供
各農業改良普及課から印刷物として提供。地域農業の実情に即した情報など。
- 3 新聞への情報提供
毎週1回（金曜日）日本農業新聞の愛知ページの専用欄に試験研究成果や地域で実証された技術、行政の取組等の情報を提供。
- 4 記者発表による情報提供
日頃の普及指導活動の状況や成果を報道機関に提供。
- 5 普及指導活動成果事例集の作成
平成24年度～26年度の活動事例を取りまとめ、県Webページに掲載。
- 6 普及指導活動ポスターの掲示
各種イベント、県庁地下通路に掲示。

○実績（平成27年度）

- 1 ネット農業あいち
記事数として年間87件をアップロード
- 2 農業普及だより
各農業改良普及課管内の農業経営士、青年農業士、農村生活アドバイザー等に年3回配布、総発行部数43,100部配布
- 3 日本農業新聞
発行部数約14,000部（愛知県版）、年間47回の掲載
- 4 報道への情報提供
情報提供件数167件（うち新聞等掲載件数115件）
- 5 普及指導活動ポスターの掲示
あいちの農林水産フェア2015で掲示（平成27年11月）
県庁地下通路に掲示（平成28年1月）